BTC 後援会だより
第６号　2019年11月
イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jpn.com/

BTC創立70周年を迎えて
～主の大いなる恵みに感謝～

会長　中山朝雄
（中目黒教会）

ハレルヤ。主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵はとこしえまで。
（詩篇一〇六篇一節）

聖宣神学院は一九四九年に設立され、今年記念すべき創立七〇周年を迎えました。

五月二十一日に聖宣神学院創立七〇周年記念式典がＢＴＣアラムナイホームカミングに出席された教団内外の先生、信徒をはじめ後援会の世話人の皆様と共にウエスレーチャペルで持たれ、これまでの主の間断なき恵に心より感謝を献げさせていただきました。教団代表の内山勝先生からは「あなたがたもまた互いに」と題してヨハネ十三章十二～十七節から七〇周年の感謝と共に、イエス様の足洗の御業から仕える事を学ぶＢＴＣであり、またお互いでありたいとの式辞説教がありました。続いて前教団代表の藤本満先生、同窓会長の宮川浩二先生からそれぞれ幸いな祝辞が述べられ、また後援会の中山も全国の信徒の皆様と共にＢＴＣのためにまた、献身者が興されるように祈りの手を上げ続ける事を誓いますと挨拶をさせていただきました。

外は激しい雨の中でしたが、一二〇名以上の方々と神様の豊かな祝福の内に恵の記念塚を建てさせていただきました。ＢＴＣは七〇周年記念事業として、旧女子寮防水工事、男子寮の個室化、本館トイレ改修、家族寮改修、旧女子寮改修ベテルハウス再生工事、現在未使用の古い建物の解体工事とベテルハウス脇に駐車場造成等様々な整備が行われました。そして、神学生をはじめＢＴＣを訪れる皆様に喜んで利用していただけるように生まれ変わりました。特にベテルハウスは、完成後教団内外の若い兄姉が集う多くの集会に用いられており、ある集会では救いの恵に預かった方の洗礼式も行われたとの幸いな報告を伺っております。沢山の方々がＢＴＣキャンパスに訪れるようになりと御協力の故に主は全国の教会と信徒の皆様に感謝と重荷を与えて下さり、一、八六三万円の尊い献金が献げられました。主の豊かな御業に感謝し、御名を崇めております。また、七〇周年記念式典時にＢＴＣ同窓会から七〇周年感謝献金として百万円が献げられ大きな励みとなりました。同窓会の先生方のご愛に心より感謝致します。この感謝献金は神学院へ全額献げさせていただき、ベテルハウスの内装備品費やＢＴＣキャンパスの整備の為に有効に用いられておりますこと、報告させていただきます。（次ページに続く）

身近な存在となってきておりますことと感謝しております。

また、ＢＴＣ後援会が昨年六月より行いました聖宣神学院創立七〇周年記念感謝献金は、ＢＴＣ世話人の愛兄姉の真実なお祈りと御協力の故に主は全国の教会と信徒の皆様に感謝と重荷を与えて下さり、一、八六三万円の尊い献金が献げられました。主の豊かな御業に感謝し、御名を崇めております。また、七〇周年記念式典時にＢＴＣ同窓会から七〇周年感謝献金として百万円が献げられ大きな励みとなりました。同窓会の先生方のご愛に心より感謝致します。この感謝献金は神学院へ全額献げさせていただき、ベテルハウスの内装備品費やＢＴＣキャンパスの整備の為に有効に用いられておりますこと、報告させていただきます。（次ページに続く）

◆日々お祈りください

①献身に導かれる方が与えられるように。特に、若い方々がさらに加えられるように。
②神学生の学びと訓練が祝されるように。
③教師、職員、スタッフが恵みによって用いられるように。
④ＢＴＣキャンパス追加工事のために。
⑤今後のキャンパス活用に主の導きがあるように。
⑥神学院の必要が豊かに満たされるように。
⑦後援会役員、推進委員、世話人が尊く用いられるように。

目次

会長巻頭言 1
祈りの課題 1
BTC70周年感謝献金収支報告　2
秋季新入生紹介 2
中部ブロック世話人会 2
教師陣に、聞く 3
神学院での恵み 3
推進委員からひと言 4
院長コラム 4
編集後記 4